



用語解説

<あ行>

○アウトティング

性的マイノリティをはじめ、社会的背景を持つ人たちの公にしたくない秘密を本人の了解を得ずに暴露し、言い広めることをいいます。

○いじめ

児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいいます。

○インクルーシブ

「包み込む」「包含する」という意味で、障がいのある人も他の人と一緒に地域の学校で学び、地域で働く場を確保し、必要なときに必要な援助や支援を受けて生活するために社会資源を充実し、住民ネットワークで障がいのある人を地域社会の中で包み込んで、ともに支えていくことをいいます。

○インフォームドコンセント

医療従事者（特に医師）が患者に対し、診療の目的・内容を十分納得できるように説明し、同意を得たうえで治療することをいいます。

○SDGs（持続可能な開発目標）

Sustainable Development Goals の略称で、「エス・ディー・ジーズ」と読みます。2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、国際社会共通の目標です。

○ADHD（注意欠陥・多動性障がい）

発達年齢に見合わない多動・衝動性、あるいは不注意、またはその両方の症状が、7歳までに現れます。学童期の子どもには3～7%存在し、男性は女性より数倍多いと報告されています。

○LGBT

女性同性愛者（レズビアン、Lesbian）、男性同性愛者（ゲイ、Gay）、両性愛者（バイセクシュアル、Bisexual）、そして、性別違和を含む性別越境者など（トランスジェンダー、Transgender）の人びとを意味する頭字語です。

LGBTという言葉は性の多様性と性のアイデンティティからなる文化を強調するものであり、性的マイノリティと同一視されることも多いですが、LGBTの方がより限定的な概念です。

○LD（学習障がい）

1999（平成11）年7月の文部省（文部科学省）調査研究協力者会議の報告書では、「学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示すさまざまな状態をさします。学習障害は、その原因として中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されますが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害などの障害や環境的な要因が直接の原因となるものではない」と定義されています。

○エンパワーメント

一人ひとりがその人らしく生きていく社会をめざす中で、文化的、社会的、政治的、経済的状況などを変えていく力を持つことや、人との関わりから本来持っている生きる力を取り戻し、自ら個性を発揮することをいいます。

<か行>

○CAPプログラム

CAP（キャップ）とはChild Assault Preventionの頭文字をとったもので、子どもへの暴力防止を意味します。子どもがいじめ、誘拐、性暴力、虐待、体罰や痴漢などのさまざまな暴力から、自分の心と体を守ることを目的とする大人と子どもへの暴力防止のための予防教育プログラムです。

○合理的配慮

障がい者が他の者との平等を基礎として、すべての人権及び基本的自由を享有し、または行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した、または過度の負担を課さないものをいいます。

○国連持続可能な開発のための教育の10年

国連において、2005（平成17）年から2014（平成26）年までを「国連持続可能な開発のための教育の10年」とし、ユネスコが関連国連機関等と協力して、国際実施計画案が策定されました。環境問題だけでなく、貧困や戦争、開発やジェンダー等が複雑に絡み合っている問題に向きあい、解決していく力を育む「持続可能な社会」の実現をめざしています。

○婚外子

法律上の婚姻関係がない父母の間に生まれた子どもをいいます。法律婚から生まれた子どもは「嫡出子」といいます。子どもの権利条約では婚外子に対する差別を禁止しています。なお、2013（平成25）年12月5日、民法の一部を改正する法律が成立し、婚外子の相続分が嫡出子の相続分と同等になりました。

○コンプライアンス（法令遵守）

一般的に「法令遵守」の意味で用いられ、法令や諸規則、企業倫理等のルールを守ることをさす言葉として使われることが多いです。

<さ行>

○自閉症

自閉症は「1. 対人関係の障がい」「2. コミュニケーションの障がい」「3. パターン化した興味や活動」の3つの特徴を持つ障がいで、生後まもなくから明らかになります。最近では症状が軽い人たちまで含めて、自閉症スペクトラム障がいという呼び方もされています。自閉症の人びとの半数以上は知的障がいを伴い、症状が重い人では合併が多くなります。残りの約3割は知能には遅れがない、高機能自閉症と呼ばれる人びとです。言語を獲得して学業成績がよい場合もありますが、人との会話は苦手です。児童期・青年期には注意欠陥・多動性障がい（ADHD）、学習障がい（LD）、てんかんを合併しやすいことが知られています。

○情報モラル

情報社会での適正な活動を行うための基になる考え方と態度をいいます。

○情報リテラシー

情報を使いこなす能力で、パソコンの操作だけでなく、氾濫する大量の情報の中から必要な情報を理解し、選択し、整理し、創造し、発信できる能力（情報の利活用能力）をいいます。

○ステップファミリー

子どもを持った男女の離婚・再婚によって生じてくる血縁関係のない親子関係・兄弟姉妹関係を内包して成立している家族のことをいいます。

○性的指向・性自認

性的指向（Sexual Orientation）とは、人の恋愛・性愛がどういう対象に向かうのかを示す概念で、具体的には、恋愛・性愛の対象が異性に向かう異性愛（ヘテロセクシュアル）、同性に向かう同性愛（ホモセクシュアル）、男女両方に向かう両性愛（バイセクシュアル）をさします。

性自認（Gender Identity）とは自分の性をどのように認識しているのか、どのような性のアイデンティティ（性同一性）を自分の感覚として持っているかを示す概念で、「こころの性」と呼ばれることもあります。

性的指向と性自認の頭文字を取った「SOGI（ソジ）」という用語もあります。

○セクシュアルハラスメント

相手の意に反する性的嫌がらせをさす言葉。略称「セクハラ」と呼ばれています。例えば、職場において、上司が労働者の胸などを触る性的な行為を拒否されたため、労働者に不利益な配置転換を行うことや、職場にヌードポスターを掲示しているため、労働者が苦痛に感じて業務に専念できないことなどがあります。また、男性が女性に対して行う言動のみならず、男性が男性に、女性が男性に、あるいは女性が女性に対して行う言動も含まれます。

<た行>

○体罰

「言葉で3回注意したけど言うことを聞かないので、頬を叩いた」、「友達を殴ってケガをさせたので、同じように子どもを殴った」など親がしつけのためだと思っても、身体に何らかの苦痛を引き起こし、又は不快感を意図的に与えることは、どんなに軽いものであっても体罰に該当します。ただし、「道に飛び出しそうな子どもの手を掴む」など子どもを保護するための行為や「他の子どもに暴力を振るうのを制止する」など第三者に被害を及ぼすような行為を制止する行為は、体罰には該当しません。

○デートDV

恋人どうしの中で起こる身体的、精神的、性的、経済的な暴力のことをいい、10歳代、20歳代といったとりわけ若い世代において身近な問題となっています。

○ドメスティック・バイオレンス（DV）

夫婦や生活の本拠をともにする交際相手といった親密な人間関係の中で起こる暴力のことで、身体的暴力だけでなく、精神的、性的、経済的な暴力なども含まれます。

<な行>

○ニート

“Not in Employment, Education or Training”の頭文字をとった略称。15～34歳の非労働力人口（仕事をしていない、また、失業者として求職活動をしていない人）のうち、家事も通学もしていない人をいいます。

<は行>

○パートナーシップ

協働、協力という意味で、関係者が連携・協力することで単独では実現困難な目的を効果的に達成しようとするしくみをいいます。

○8050問題

「8050（はちまる・ごうまる）問題」といい、高齢の親と働いていない独身の50代の子が同一世帯で生活していることで顕在化している生活課題をいいます。

○発達障がい

発達障がいはいくつかのタイプに分類されており、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動性障がい（ADHD）、学習障がい（LD）、チック障がいなどが含まれます。これらは、生まれつき脳の一部の機能に障がいがあるという点が共通しています。同じ人に、いくつかのタイプの発達障がいがあることも珍しくなく、そのため、同じ障がいがある人どうしても、まったく似ていないように見えることがあります。個人差がとても大きいという点が、特徴といえるかもしれません。

○パラアスリート

「パラスポーツ」とは、障がいのある人たちが行うスポーツのことで、パラリンピックで行われる競技などで活躍するアスリートのことをいいます。

○バリアフリー

障がいのある人が社会生活をしていくうえで障壁（バリア）となるものを除去することをいいます。段差等の物理的障壁（バリア）の除去と、より広く障がいのある人の社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的なすべての障壁（バリア）の除去という二つの意味があります。

○パワーハラスメント

職場の権力（パワー）を利用した嫌がらせをさす言葉です。略称「パワハラ」と呼ばれています。本来の業務の範疇を超えて、継続的に人格と尊厳を侵害する言動を行い、就業者の働く関係を悪化させ、あるいは雇用不安を与えることをいいます。うつ病などのメンタルヘルス不調の原因となることもあります。

○ひきこもり

さまざまな要因の結果として、社会的参加（義務教育を含む就学、非常勤職員を含む就労、家庭外での交遊）を回避し、原則的には6か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態（他者と交わらない形での外出をしてもよい）を示しています。

○ファシリテーター

単なる司会、進行役ではなく、話し合いを「容易にし、促進する」役割を担い、グループの中の一人ひとりが持っている豊かな経験・アイディア・意見を「引き出し」、皆が等しく参加できるようにする人のことをいいます。ファシリテーターは、そうした全員参加型の話し合いを通して、一人ひとりが自らの生き方・あり方との関連で何かを「発見」し、「気づき」をもたらすことを可能にする役割を担っています。

○部落地名総鑑事件

全国の同和地区の地名、所在地などが一覧として記載された差別図書の存在が、1975（昭和 50）年に一通の投書により判明したものです。主に就職や結婚などに際して同和地区出身者を排除するために、企業等多くの団体が購入していたことがわかり、大きな社会問題として取り組みが進められました。

○フリーランス

会社や組織に所属することなく、個人で仕事を請け負う働き方のことをいいます。

○ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

男女が、社会の対等な構成員として、社会のあらゆる分野における男女間の参画機会の格差を改善するため、必要な範囲において、男女のいずれか一方に対し、参画の機会を積極的に提供することをいいます。

○本人通知制度

事前に登録した人の住民票の写しや戸籍謄本など（以下「住民票の写しなど」という。）を代理人や第三者に交付した場合に、交付した事実について登録者本人に通知する制度です。これは、住民票の写しなどの不正取得による個人の権利侵害を防止することを目的としており、八尾市では、2013（平成 25）年 8 月 1 日より実施しています。

<ま行>

○マイナンバー制度

2013（平成 25）年 5 月に公布された「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」（番号法）に基づく制度です。マイナンバーは、住民票を有するすべての人に 1 人 1 つの番号を付して、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるもので、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平かつ公正な社会を実現する社会基盤です。

○マタニティハラスメント

職場において妊娠や出産者に対して行われる嫌がらせをさす言葉です。略称「マタハラ」と呼ばれています。妊娠・出産に伴う労働制限・就業制限・産前産後休業・育児休業によって業務上支障をきたすなどという理由で、精神的・肉体的な嫌がらせを行う行為のことをさします。妊娠中に嫌がらせによる流産の危険性もあり、男女雇用機会均等法、育児介護休業法や労働基準法に違反する場合も多々見受けられます。

○見た目問題

事故や病気で顔や身体が変形、欠損、やけど、脱毛や麻痺など「見た目」に症状がある人たちが、他人からじろじろ見られたり、心ない言動に傷つけられたりするなど日々ぶつかる問題をいいます。

○モラルハラスメント

言葉や態度、身振りや文書などによって、働く人間の人格や尊厳を傷つけたり、肉体的、精神的に傷を負わせて、その人間が職場を辞めざるを得ない状況に追い込んだり、職場の雰囲気悪くさせることをさす言葉です。略称「モラハラ」と呼ばれています。うつ病などのメンタルヘルス不調の原因となることもあります。

<や行>

○ヤングケアラー

介護・看護が必要な家族のために大人が担うようなケアの責任を引き受け、家事や家族の世話、感情面のサポートも行っている子どもや若者のことをいいます。

○要保護児童対策地域協議会

虐待を受けているなど保護が必要な子どもと、その保護者に関する情報の交換や支援内容の協議を行う場として、児童福祉法に基づき設置する機関です。

<ら行>

○リベンジポルノ

元交際相手や元配偶者の性的な写真・動画などを、インターネット上で不特定多数の人に公開する嫌がらせのことをいいます。